

2025年は太平洋戦争終戦から80年を迎える節目の年です。国際文化資料館企画展「戦後100 年に向けて 若者が語り継ぐ舞鶴の引揚」では第二次世界大戦後のシベリア抑留や引揚港となった舞鶴、またその記憶を語り継ぐ活動を行う学生たちを紹介します。この展示会は、2025年度京都外国語大学学芸員課程履修生が企画・展示を担当しました。

展示会は、Ⅰ部「シベリア抑留」とⅡ部「舞鶴への帰還」、Ⅲ部「語り継ぐ学生たち」、Ⅳ部「舞鶴へのいざない」の4部で構成しています。Ⅰ部Ⅱ部では、舞鶴市引揚記念館の収蔵資料を展示し、シベリアでの生活、過酷な日々、そして舞鶴への帰還を紹介します。

Ⅲ部「語り継ぐ学生たち」では、舞鶴の大学生や中高生たちが、「語り部」として「引揚」を体験者の方々との交流を通して語り継いでいることを来館者に知って頂きます。

そして、Ⅳ部「舞鶴へのいざない」として、今の舞鶴へ足を運んでいただくように様々な魅力を紹介します。

遠く離れた異国の地で苦難を経験したシベリア抑留。舞鶴はそんな彼らがようやく日本の土を踏みしめた希望のふるさとです。未来を担う学生たちが過去と向き合い、その歴史を未来へと語り継いでいます。本展示会をきっかけに、今も起きている戦争に関して、平和を願うだけでなくまずは知ろう、未来へ伝えようとする姿勢が平和に繋がることにあらためて心を寄せていただければと思います。

そして、本展をきっかけに、ぜひ舞鶴引揚記念館へも足を運んでいただき、平和への意識をより一層高めていただければ幸いです。

最後になりましたが、本展示会の企画、開催には、舞鶴市引揚記念館、語り部のみなさんほか、多くの方々のご協力を得ました。心から感謝申し上げます。



収容所で飼われていた犬クロ



白樺日記(レプリカ)



抑留中に手作りした生活用品



「岸壁の母」 端野いせ



手作りのメモ帳(レプリカ)

◆関連イベント◆

- ・外大祭にて修了展と舞鶴の紹介
- ・舞鶴引揚記念館学生語り部による展示案内、ギャラリートーク(日時未定)
- ・来館者による折り鶴作り



交通案内

- ・地下鉄東西線「太秦天神川」駅より徒歩約5分
- ・京福電鉄嵐山本線「嵐電天神川」駅より徒歩約5分
- ・阪急京都線「西院」駅より徒歩約30分、または市バス「京都外大前」下車、徒歩約10分
- ・JR「京都」駅より市バス、京都バス「京都外大前」下車、徒歩約10分

一歴史を未来へ繋ぐー

舞鶴引揚の記憶を伝える若き語り部たちに迫る展示。活動の裏側にある学生たちの素顔と未来への想いを独占インタビューでご紹介。

〈舞鶴引揚記念館アクセス〉



国際文化資料館
University Museum of International Cultures

〒615-8558
京都市右京区西院笠目町6
TEL:075-864-8741 E-mail:siryokan@kufs.ac.jp